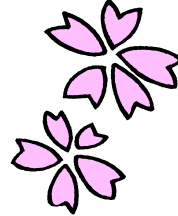


Topic 1

合格体験記 喜びの声&後輩へのアドバイス

佐々木 珠乃さん

■合格大学：早稲田大学 基幹理工学部 学系Ⅱ
■学校名：県立熊谷女子高校 ■校舎名：熊谷中央校



● 俊英館に通塾して良かったところは？

運動部に所属していたため、時間的にも体力的にも厳しいところがありましたが、受験勉強にお勧めの問題集を教えていただき、苦手教科の対策も迷わず始められました。英語は特に苦手で、自分ひとりではなかなか手が付けられませんでした。授業のおかげで長文に対する苦手意識がなくなりました。

また、定期テストの過去問をもらうことができたのも嬉しかったです。高2の途中から通い始めましたが、もっと早く通い始めれば良かったなと思います。

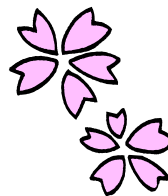
● 後輩へのアドバイス

1・2年のうちはなかなか慣れなかったり、部活で忙しかったりすると思います。私は通学にも時間がかかったので、入学したての頃は常に時間に余裕がありませんでした。でもどうすれば時間を有効に使えるのか、自然と考えるようになり、今では最初の頃の忙しさが必要なものだったと思っています。もし部活などで忙しくても、時間を上手に使えるようになるための試練だと、できるだけポジティブに考えて受験勉強に臨むべきだと思います。

また、私が勉強を頑張れた理由には、友人の存在があります。部活の合宿でも夜遅くまで勉強していたり、クラスで休み時間でも勉強している友人がいたりすると、自分も頑張らなくちゃという気持ちになりました。塾でも多くの人が集中して勉強していたので、とても励みになりました。

雨宮 麻樹さん

■合格大学：白梅大学 子ども学部 子ども学科
■学校名：県立秩父高校 ■校舎名：秩父中央校



● 合格を手にしたの感想は？

私の受験した大学は、HPで合否結果が見られなかったため、一日中どきどきしていました。合格とわかった時は、本当に嬉しくて、同時にほっとしました。

私が受験した推薦入試は、書類、面接、現代国語が必要で、特に漢字で差がつくので、漢字の本を4冊同時に30ページずつ並行して行っていました。そのため、自信をもって試験に臨むことができました。また、面接練習ではさまざまな先生方に指導していただき、教頭先生など普段自分と関わらない先生方にも見ていただきました。

短い冬休み期間をいかに過ごすかは、高校生にとってとても大事です。年中行事などでも忙しいこの期間の過ごし方について、各学年の最重要ポイントをまとめました。

高3:受験を成功に導くベストな勉強法

①赤本、問題集、冬の講習の3つを駆使して最後の得点力アップを図る

赤本を解いていても、この時期では合格点には達していない大学も多いと思います。合格点（自己採点で75点以上）を超えるまであと何点とればよいのか、どの科目のどの単元を克服すべきなのかを把握することが第一です（大学によって科目ごとの難易度が変わりますから、それも考慮しましょう）。

しかし、赤本を解くだけでは、入試での得点力アップは図れません。合格点との差が明確になったら、その差を埋めるために、問題集で演習したり、冬の講習を受講したりする必要があります。赤本を解く時間を確保するために、冬の講習の講座を少なめに抑えようとして落とし穴にはまる人がいます。冬の講習は、長年のデータ分析から作られた、直前対策にふさわしい、得点力アップに直結する講座がたくさん用意されています。自分にとって必要な講座を受講して、完全消化に努めましょう。

また、センター試験を受験する人（国公立大入試、私立のセンター利用入試を受ける人）は、センター前1ヶ月間は、センター対策に没頭しましょう。マークシート問題をいかに速く解き高得点をたたき出すか、センター試験に体が慣れるまで、冬の講習のセンター対策講座や、市販のセンター模擬テストパックを繰り返し解きましょう。

②塾のテキストを復習する

塾のテキストの2学期内容の部分は入試頻出の単元で構成されています。1学期で基礎を固め、2学期で実践問題を解ける力が養成できる作りになっているわけです。すでに受講し終えた2学期のテキストをもう一度解き直して、得点力アップを図りましょう。2度目の解き直しは1回目ほど時間がかからないので、効率の良い勉強法といえます。計画的に復習する時間をとることが実は最も効率がよいのです。

③再度赤本を解いて、出題傾向と自分の得点力との差を把握する

冬の講習、問題集演習、2学期テキストの解き直しを経て、どのくらい実力が上がったかを測るべく、再度赤本を解きましょう。その結果を受けて、改めて底上げを図るべき科目・単元を見つけて、冬の講習テキスト、問題集、2学期テキストのその単元部分の解き直しを受験終了まで継続していきましょう。

高2:本格的に受験勉強を冬までに開始したら、合格率は30%アップ！

冬休みは受験勉強スタートラインです。受験勉強のスタートが1ヶ月遅れるごとに第一志望の合格可能性は10%落ちると言われています。この時期を逃すと、受験勉強のスタートは学年末テスト終了後になり2ヶ月も遅くなり、合格可能性が20%落ちます！2学期の期末テスト直後から受験勉強を始め、合格率を30%上げましょう！

冬の講習では、理系なら英語、数学、理科、文系なら英語、国語、社会を受講します。冬の講習以外の勉強では、英文法の総復習をしてください。基本的なことでも忘れていることが多くて、びっくりするかもしれません（試しに、下の問題を解いてみてください）。

問題 次の文を He を主語にした文にしなさい。 It seems that he was sick.

答え He seems to have been sick.

※that 節の時制(過去)が主節の時制(現在)とずれているので「完了不定詞」を使うところがポイント！

高1:評定平均を効率よく上げる考え方

①通知表の10段階評定で、奇数の評定(9,7,5)を狙おう。

「学年評定」では5段階評定を用いますが、10段階評定の9,7,5はそれぞれ5,4,3になります。10段階評定の10,8,6もそれぞれ5,4,3ですから、10段階評定では奇数の評定(9,7,5)でもよいわけです。

※ただし、10段階評定を5段階評定に直す基準は、学校によって異なります。

②1学期と2学期で評定(通知表結果)が違う科目に力を入れよう。

通知表が1学期は7で、2学期も7の場合、3学期9をとっても、学年評定は平均されて10段階評定で8になり、5段階評定では4になります(ちなみに、10段階評定の7も5段階評定では4です)。つまり、1学期と2学期で9と8や、7と6、5と4などで通知表が1だけ異なっている科目は3学期に力を入れて1上げておくことで、効率よく評定平均も上げることができます。

1 立教大 留学 100%目指し給付型奨学金を新設

立教大学は、2016年度より学生の海外留学を経済的に支援することを目的とした「立教大学グローバル奨学金」を新設する。返済の必要がない給付型奨学金で、立教大学が実施するいずれかの留学プログラムに参加する学生を対象に給付を行うという。

立教大学では、2014年5月に公表した国際化戦略「Rikkyo Global24」を基盤とした構想が文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」に採択されており、現在、毎年約1,000名の学生が海外留学している。今後、ますます学生の留学を加速させ、2019年度には50%(年間2,000名)、2024年度には100%(年間4,000名)の学生の海外経験を目標にしているという。

一方で、留学を考えていない学生は、そのおもな理由が経済的なものであることが、日本私立大学連盟が2014年に行った学生生活実態調査により明らかになっている。立教大学では、留学意欲があっても経済的な理由により留学を断念している学生を支援するため、新設される奨学金制度を整備し、経済状況にかかわらず積極的に留学プログラムに参加できる環境整備を進めていくという。

◆立教大学グローバル奨学金

対象：派遣留学、学部間交流プログラム、認定校留学、その他単位認定を行う留学プログラムに参加する学部学生、大学院学生、正規の外国人留学生

金額：留学プログラムに応じ10万円から40万円を給付(家計の収入基準あり)

人数：基準を満たせば、対象者全員に支給



2 大学入試ネット出願 前年比51%増 私大の約半数が実施へ

「インターネット出願」はネット上から出願手続きを行うことができるシステム。出願期間内は24時間出願可能で、項目チェック機能から記入漏れなどのミスが生じることを防ぎ、受験料の払い込みもコンビニやクレジットカードで行えるなどメリットも多いことから、近年導入が広がっている。ネット出願限定で受験料を割りきする「ネット割」を実施する大学も増えており、受験生にとって魅力ある制度として歓迎されている。

ある調査によると、私立大学ではネット出願を「既に導入済み」「新規導入が決定」「新規導入を検討中」と回答した大学が全体の約45%を占め、2015年度入試を対象とした調査時の32%を大幅に上回った。国立大学では、ネット出願実施校は約8%にとどまるものの、2015年度入試の約4%より増加している。

私立大学実施校のうち、紙での出願との併用を廃止する「全面移行」を表明した大学は35.7%に上り、2015年度入試の21.0%を14.7ポイント上回った。

ネット出願の導入を実施した大学はその理由として、受験生の利便性向上、紙の願書の制作費や記入漏れをチェックする手間の削減、要員の減少によるコストカットなどを挙げている。それに対し、導入を実施しない大学は、コストダウンが見込めないことや、情報流出の懸念を挙げた。

3 東京都、2018年度に高校生までを対象にした「英語村」開設を検討

東京都教育委員会は10月27日、平成30(2018)年度設置に向け検討を進めている「英語村」について、在り方を議論する有識者会議の検討結果をまとめた報告書を発表した。小学5年生から高校3年生までを対象に、英語を使った体験・実践の場として開設を目指している。

東京版英語村のコンセプトは、「英語を使うことに慣れる場」「英語を試す場」「交流の場」「きっかけ作りの場」の4つ。グローバル人材の育成に向け、単なる4技能の習得だけでなく、英語を使って積極的にコミュニケーションがとれる力を身につけるための疑似体験の場、国際交流の場、英語学習への意欲向上の場とすることを基本構想としている。

対象はおもに小学5年生から高校3年生。具体的には、学校行事としての活用、個人・グループによる活用、通所型や宿泊型など、さまざまな参加形態を検討している。そのほか、民間のアイデアや経営手法の活用、安価な入場料、多様な人材の確保など、英語村の開設に向け幅広い提言がなされている。

医療・福祉系を目指す人におすすめの奨学金は？

基本的には「貸与型」だが、卒業後に奨学金を運営する組織や団体などが定める諸条件をクリアすれば「給付型」になる、つまり受け取った奨学金の返還を免除されるものもある。

こういった「特殊タイプ」は、医師や看護師、社会福祉士などを目指す人が対象となっている。そのため、これらの資格を取得できる大学を受ける人には、ぜひ利用してほしいおトクな制度だ。

具体的には、これらの職業を目指すために大学に入学し、奨学金を利用して卒業(卒業見込みを含む)の後、国家試験に合格すれば、奨学金を貸与した団体や機関、自治体などが利用する病院などの医療機関で一定年月働くことで、返還が免除されるというものだ。

特に、看護師を目指す人向けの奨学金は、地方自治体のほかに、規模の大きい病院なども独自に実施しており、利用できる可能性は比較的高い。

いろいろな奨学金から自分が利用可能なものを選ぶ

現在日本で奨学金を運営している団体や機関はさまざまある。最大のもは、日本学生支援機構が運営する国の奨学金制度で、利用者は約140万人以上(大学院生、短大生、専門学校生なども含む。2013年実績)もいる。他の奨学金制度の利用者数は、多いところでも数百人～数千人程度なので、現状では最も身近で利用しやすい制度と言えるだろう。

独自に奨学金制度を運営する地方自治体(都道府県や市レベル)や、民間の企業などが資金を出して設立した育英団体が実施する奨学金制度も数多くある。前者は貸与型が大多数で、後者は給付型が多いかわり、応募条件が厳しい。しかも、いずれも募集人員が少ない。

ここで見逃せないのが、各大学・短大などが独自に運営している奨学金制度だ。多くの学校が、貸与型と給付型を併用して実施し、その数は増加傾向にある。特に、私立大はほとんどが実施していると言ってもいいだろう。

この他にも、さまざまな奨学金制度がある。例えば、大手新聞社では、朝・夕刊を配達しながら各大学に通うことができる「新聞奨学生」を募集している。仕事はとてもハードだが、きちんと働けば、奨学金以外に、給料なども支給される。

保護者が事故や災害に遭ったことが原因で、家計が困窮している家庭の子どもを対象とした「あしなが育英会」や、保護者が交通事故で死亡したり後遺症のため働けなくなったりした家庭の子どもが対象の「交通遺児育英会」などの奨学金制度もある。また、母子家庭など、さまざまな理由で生活が困窮している家庭の子どもに対する奨学金制度も、地方自治体などで実施されている。

奨学金制度を利用するときのポイント

利用しやすいのは？	貸与型(利子あり) > 貸与型(利子なし) > 給付型, 特殊型
おトクなのは？	給付型・特殊型 > 貸与型(利子なし) > 貸与型(利子あり)

奨学金制度 これだけは知っておこう！

- ・日本は圧倒的に「貸与型」が多い！「給付型」は狭き門！
- ・どの奨学金制度も自分から申し込まないと利用できない！
- ・最大規模の国による奨学金制度は、他の奨学金制度と併用できる！

奨学金制度を上手に使うには？

- ・医師や看護師などを目指す人は、特殊型がねらい目！
- ・各大学独自のユニークな奨学金制度が次々に登場しているので、要チェック！
- ・入学までにかかる費用は教育ローンを利用！
- ・入学後の学費や生活費は奨学金を利用！